

やまなみ

2021
vol.22



長野市豊野町 泉平地区から千曲川を望む



泉平ハイツ等を運営する「社会福祉法人豊智福祉会」は令和2年4月1日に「社会福祉法人長野県社会福祉事業団」と合併しました。
←手前、緑の屋根が「泉平ハイツ」、道路を挟みグレーの屋根が「水内荘」(8月撮影)

【特集記事】

新設事業所紹介

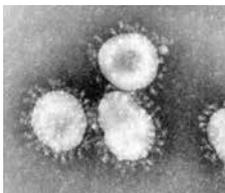
- ①泉平ハイツ
 - ②松本児童家庭支援センターあいく
- 台風19号関連のお見舞金等御礼

【連載記事】

事業所リレートーク／チャレンジアクション／つれづれ福祉／

- 令和2年度組織概要／令和2年度事業計画
- ・収支予算書／
- 令和元年度事業報告・収支決算書／
- プレゼント ほか

新型コロナウイルス感染症の世界的流行



一昨年の12月に中国武漢市から拡がった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界的流行(パンデミック)の様相を呈し、未だ収束の気配が見えない状況が続いています。我々、福祉従事者も先の見えない状況に大きな不安を抱えながら、日々手探りで支援を続けています。



長野県社会福祉事業団理事／長野ブロック長
水内荘所長
みちグループホームセンター所長
歩菜里所長

災害を乗り越えて 更なる絆を地域とともに

小島 健一

あけましておめでとうございます。
令和元年の台風19号により、当法人では長野ブロック事業所を中心に甚大な被害を受けました。幸い人的被害はありませんでしたが泥水に覆われた街の風景を目の当たりにした瞬間は茫然自失、思わず言葉を失いました。それでも長野市をはじめ関係者の応援もあり、被災事業所は昨年の5月の連休明けから徐々に活動が再開され、7月には従来どおりの活動を展開しています。ご尽力いただいた関係者の皆さまに改めてお礼を申し上げます。

さて、コロナ禍の本年度は水内荘と隣接する特別養護老人ホーム「泉平ハイツ」との合併元年となり、当事業団もいよいよ高齢福祉分野に新たな一歩を踏み出しました。「この子らの老後の安らぎの場を求めて」として水内荘利用者の老後の安住の場として平成元年に利用者や当時の保護者会、職員等が中心となり、旧豊野町の協力を得て法人「豊智福祉会」を設立、平成2年に開所となり

ました。
現在、高齢知的障がい者の支援については大きな課題となっており、水内荘のような入所施設は高齢化、重度化傾向が顕著で自宅やグループホームへ移行するケースは減少傾向にあります。

水内荘は昭和37年に県内初の知的障がい者の入所施設としてスタートして今年で59年目となり、開設当初から育んだ地域との「絆」をどのように維持、発展していったら良いのか。「昭和」「平成」「令和」と利用者も保護者も職員も関係者も「世代交代」の時期を迎えています。「泉平ハイツ」ともども利用者支援に留まらず、街の防災拠点を担うなど、新たな施設機能や役割について地域とともに更なる「絆」を築いていきたいと思えます。

今後とも関係者の皆さまのご支援ご協力をよろしく願っています。

新設事業所紹介

令和2年4月の

新設事業所を紹介します。

① 泉平ハイツ 法人合併の経緯

令和元年度まで「社会福祉法人豊智福祉会（以下「豊智福祉会」と表記）」で運営していた「泉平ハイツ」は、令和2年4月1日の法人合併に伴い、新たに「社会福祉法人長野県社会福祉事業団（以下「事業団」と表記）」の一事業所として再スタートを切りました。

豊智福祉会設立の発端は、隣接する水内荘に入所している利用者の保護者及び関係者を中心に「子どもたち（利用者）が将来高齢化した時の生活拠点をどうするべきか」という検討の中で、当時の旧豊野町の大変な協力もいただき、法人及び施設の開設が図られた経過があり、当初から水内荘と泉平ハイツは兄弟施設として運営を進めてきました。

今般の社会福祉法の改正の中で、社会福祉法人の経営規模について、今後は一定規模の法人が中心となって運営をしていくことが社会福祉法人運営にとっては必要となってくるという議論がなされるなど、小規模な社会福祉法人にとっては厳しい運営が予想される事態となつてき

ています。
事業団と豊智福祉会は、こうした社会福祉法人を取り巻く環境変化を考え、

- ① 高齢福祉分野の2025年問題への対応と水内荘利用者の急激な高齢化の問題への対応
- ② 人材の安定的確保と人材育成・定着の課題に関する対策
- ③ 安定経営のための一定規模の事業所運営と事業所相互の連携
- ④ 共生型サービスの事業展開をはじめとした新規事業の展開と既存事業の充実



（介護予防）短期入所生活介護

泉平ハイツ 短期生活介護センター

サービスの内容 定員16名

在宅で介護を受けている方が、ご家庭の事情などで一時的に在宅での介護ができない場合、短期間施設をご利用いただくことができます。急なご利用の場合の送迎などきめ細かなサービスにも努めています。

居宅介護支援 泉平ハイツ 指定居宅介護支援事業所

サービスの内容
介護支援専門員が要介護者やご家族の意向、心身の状態、環境などを考慮し、サービス内容の紹介や調整を行い、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護が必要な方でも自宅で自立した生活が送れるようサポートいたします。

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 泉平ハイツ

サービスの内容 定員74名
設立時からの基本理念である「無償の愛」をモットーとし、その方らしい生活を大切に、居心地のよい家庭的な生活が送れるケアを心がけています。そのために、お一人おひとりの心身の状態に合わせ、また、ご利用者やご家族の意向を尊重したプランを作成し、それに沿ったサービスを提供いたします。

などについて両法人が合併することで効果的で効率的な運営が図ることができると判断し、合併に至りました。

実施事業説明

（介護予防）認知症対応型共同生活介護 認知症高齢者グループホーム 泉平ファミリー

サービスの内容 定員18名
ご家族や親しい人達がいる住み慣れた地域で、第二の我が家として自分らしく安心して生活が続けられるようサポートし、ご利用者お一人おひとりの笑顔を大切にいたします。

通所介護、介護予防通所介護相当サービス 豊野デイサービスセンター

サービスの内容 定員25名
定期的に施設に通っていただき、入浴やリハビリを行ったり各種のレクレーションにご参加いただける日帰りサービスです。当施設では28畳の広い量のスペースを設けており、家庭的な雰囲気の中でお過ごしいただけます。



令和2年 4月1日	平成26年 3月31日	平成18年 10月1日	平成15年 5月26日	平成15年 4月1日	平成12年 10月1日	平成12年 4月1日	平成2年 4月1日	平成元年 6月26日	
社会福祉法人長野県社会福祉事業団と合併	事業廃止 共同生活援助「りんこの木」を廃止(社会福祉法人長野県社会福祉事業団水内荘へ移管)	種別変更 福祉ホーム(りんこの木)を指定障がい福祉サービス事業(共同生活援助「りんこの木」に変更)	定員の変更認可 豊野デイサービスセンターの定員(20名→25名)	グループホームの開設 認知症高齢者グループホーム泉平ファミリーの開設(定員18名)	特別養護老人ホームの定員(70名→74名) シヨートステイの定員(20名→16名)	定員の変更認可 特別養護老人ホームの定員(70名→74名) シヨートステイの定員(20名→16名)	介護保険法による指定老人福祉施設認可 新規事業認可 泉平ハイツ指定居宅介護支援事業所の開設	施設事業開始 特別養護老人ホーム泉平ハイツ(定員70名) シヨートステイ(定員20名) 豊野デイサービスセンター(定員20名) 福祉ホーム(定員10名)	法人設立許可 社会福祉法人豊智福祉会

泉平ハイツは、令和2年4月1日の法人合併により長野県社会福祉事業団の一員として新たにスタートしました。超高齢社会のさらなる進展の中で介護施設の役割は増大していきますが、高齢者の自立支援や安楽な日常生活支援、安らぎの場としての役割など、地域における高齢者福祉の一端を担う施設として今後も事業を推進していきます。



泉平ハイツ
所長 小林 邦広



② 松本児童家庭支援センターあいく

「児童家庭支援センター」は、児童福祉法に基づき、ご家庭や子育てに関する悩みをお受けし、相談支援する機関です。

令和2年4月に児童心理治療施設「松本あさひ学園」の敷地内に新たに開所しました。

「あいく」の名称は、中信地域の方言「歩く(あいく)」と「愛を育てる」愛育(あいく)から取り、相談者と一緒に歩いて行くという思いが込められています。



相談援助にあたる職員3名は3月まで、松本あさひ学園に勤務しており、これまで培った知見やスキルをさらに広く地域福祉に役立てたいという熱い思いから、今回の開所に至りました。

今後、両事業所間で連携を取りながら、中信地区市町村・関係機関とのネットワークの構築を進め、子育て中の皆さんをきめ細やかに応援します。

令和2年4月に松本あさひ学園治療棟内に松本児童家庭支援センターあいくがオープンしました。地域に根差した子育ての相談援助を目指し、伴走者として一緒に「あいく(歩く)」したいと思います。今年度、職員3人の目標は「ワクワクドキドキ大作戦」。笑顔で頑張ります。



松本児童家庭支援センターあいく
所長 岡田 菊夫

台風19号関連のお見舞金等御礼

令和元年10月12日から13日にかけて日本列島を襲った「台風19号」により、長野市では「千曲川」の堤防が決壊、これにより当事業団では5事業所が浸水被害を受けました。

当然、事業所を閉鎖せざるを得ませんでした。復旧に向けて、多くの皆様から過分なるお志を頂戴いたしました。

ここに改めてご紹介をもって、御礼と代えさせていただきます。



お見舞金等をお寄せ頂いた方
一覧（順不同・敬称略）

【水内荘（長野ブロック）】

榎大洋／榎林橋の里／榎長野ファクス商会／友田自動車（株）／ヤマザキYショップフジモト店／為田希／サラヤ（株）名古屋支店／（特非）長野音楽療法研究会

【八雲日和・小春日和】

浦野光隆／共同建設設計（株）／春日麵機工業（株）／佐藤弘子／DMノバフォーム（株）／とまとくらぶ／長野養護学校職員有志／柄木田製粉（株）／麻場／（株）イチジユウ／日本海リース（株）／（有）モードテラ／大同生命社会貢献の会／（有）長野ファクス商会／友田自動車（株）／山岸淳子／松本ひよこ／藤本邦武（株）／長野サラヤ商会／（特非）長野音楽療法研究会／（有）読売光と愛の事業団／藤澤とし子／（特非）長野県セルブセンター協議会／埼玉県民

【サンアップル】

（特非）長野音楽療法研究会／北島洋子／青山攝／いなっ子一同／兒玉／細川／小池／岡林／袖山／緑川／日本福祉大学／中村／酒井／岐阜県障害者スポーツ協会／新日本警備／山川／半田貴子／東口／藤田／松本久美子／野尻真子／徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会／檀原鮎／小林晴美／根津／ダスキン／川手洋子／ホテル信濃路／吉川美佐子／小平／牧島／Nittaku



大同生命社会貢献の会様（慰労風景）

【本部事務局】

小池邦子／松井浩二／西駒郷保護者会／（特非）法人夢・同人／淡海ふれあいウオーク会／（有）小羊学園／（有）はるにれの里／信越電波協力会／自動車総連／（有）全国社会福祉事業団協議会／全国社会福祉法人経営者協議会／長野県社会福祉法人経営者協議会／（株）ジー・ニティスト／鈴木若菜



NPO法人夢・同人様（お見舞金贈呈）



自動車総連様（車両寄贈式）

※令和元年10月から令和2年12月までの期間に「お見舞金」、「差し入れ等」をお寄せいただいた方のご紹介となります。なお、個人名及び企業・団体名については必ずしも正確でない場合がありますのでご了承ください。
※職員からのお見舞金、差し入れ等については割愛させていただきました。
※12P掲載の「令和元年度の寄付一覧」は、「寄付申込書」に基づき、令和元年度中に受け入れを行ったものみの掲載となります（上記表と重複）



長野県社会福祉事業団
事務局長
善哉 健次

令和元年の台風19号の被災状況を目の当たりにし、「どこから手をつけていいのか」途方に暮れた記憶が今でも蘇ります。

当然、被災下であっても利用者には安心、安全で、できる限り通常に近いサービスを提供したいと思う一方で、複数の職員も自宅が浸水等の被害を受けており、職員の安否確認をしながら、手探りの状態で復旧作業がスタートしました。

こういった中、各事業所と日頃から関係のある皆様だけでなく、全国各地から多くのボランティアの皆様に駆けつけていただき、さらにはお見舞金等まで頂戴し、お陰様で半年程度で通常の施設運営ができる状況まで復旧することができました。今後、各事業所の運営を通じて、ご支援いただいた皆様に少しでも恩返しができるよう、一生懸命取り組んでまいりたいと考えます。ご支援ありがとうございました。



① 八雲日和

「うどん・おやきの販売を再開しました」



八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」は一昨年の台風19号の被災により、1階のうどん・おやきの製造部屋が天井まで浸水してしまいました。その間、仮事業所として同法人の水内荘や歩楽里で作業等を行い、多くの皆様のご協力をいただき無事改修工事も終了し、6月15日より再開することが出来ました。

7月6日からは、八雲日和の看板でもある「うどん」「おやき」の販売を始めました。当面は注文販売のみとさせていただきますが、製造機器等も一新し試行を重ね、以前よりもより良い商品作りを心掛けています。周辺は復興の真ただ中であり新型コロナウイルスの影響もあり元通りとはいきませんが、地域の一員として新生、八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」をよろしくお願いたします。(玉井)

7月6日からは、八雲日和の看板でもある「うどん」「おやき」の販売を始めました。当面は注文販売のみとさせていただきますが、製造機器等も一新し試行を重ね、以前よりもより良い商品作りを心掛けています。



② 小春日和

「利用者の笑顔に活気が戻りました」

一昨年の台風19号により、小春日和の建物は大きな浸水被害を受けました。現在も周辺地域はまだ復興途中ではありますが、当事業所は無事に改修工事が完了しました。



更に新型コロナウイルス感染症流行により社会が大きな影響を受けている中で、皆様のご協力により事業所を再開できたことに心より感謝申し上げます。また、利用者の皆さんの元気で明るい笑顔に小春日和にも活気が戻り、職員も毎日元気をもらっています。

まだ厨房作業はお弁当の製造販売のみで、カフェの今年度中の再開は見送ることとなりました。

ただ、カフェスペースを利用したいという地域の福祉団体や住民の方々の要望もあり、新たな活用方法として地域住民のフリースペースとしてホールを開放し、大勢の方々にご利用いただけるよう地域貢献活動の一環として取り組んでいきます。(仲田)



③ 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

「災害復旧、そしてコロナ禍での再スタート」



令和元年10月13日未明、台風19号の影響で千曲川の堤防が決壊し、2km程離れたサンアップルも甚大な被害を受けました。

多くのボランティアの協力や様々な支援を得ながら復旧作業を行い、翌年1月11日には再開することができました。しかし、同年3月31日に完了予定の天井耐震工事も災害復旧の影響で延長となり、ホール・プール・体育館が利用できない形での再開でした。

その後も新型コロナウイルス感染症の拡大により、休館や事業の縮小・中止、利用制限をかけながらの営業を余儀なくされました。

その様な中、7月1日からホール、7月21日からプール、そして8月1日からは体育館が再開し、全施設が利用可能となりました。

今後は「新しい生活様式」にそって、段階的に利用制限を解除しながら以前の状態に戻していきたいと思ひます。ご利用者様に“Go To サンアップル”していただけますよう、今まで以上のサービスを提供していきたいと思ひます。(新井)



(新井)

コロナ禍における積極的な取組紹介

① 「みのちカフェ」開店！（水内荘）

コロナ禍で、水内荘ではこれまでのように買い物外出や帰省等ができなくなり、いつ通常の日々に戻るのか不安な日々が続いています。

こういった中、利用者さんにとって楽しみのひとつである食事を、ただ食べるのではなく、食事プログラムがのことができればいいなあと考え、給食委託業者にも相談し、これまで様々な献立や企画を実施してきました。

その中のひとつとして「みのちカフェ」では、喫茶店に行ったような雰囲気を感じてもらうため、食堂をカフェのように看板等で飾り、BGMが流れる中ウエイターやウエイトレスに扮した職員が「いらっしゃいませ〜」と食堂に入ってきた利用者さんをお出迎えました。

今までのおやつは、時間になったらお茶とおやつを食べておしまいでしたが「メニューをどうぞ」「ご注文は何にしますか？」「おまたせしました」と職員が接客し、利用者さんは普段と違った雰囲気の中、注文を受けてから作る「泡立ちミルクのゼアイスコーヒ〜」に何とも言えない笑顔や、恥ず



かしそうにしたりする草など、様々な表情が見られました。利用者さんにとっても楽しい時間が過ごせたのではないかと自負しています。

今後もメニューを変えながら、水内荘みんなで創る「みのちカフェ」を続けていけたらと考えています。（湯本）

② サンアップル&サンスポーツ 運動プログラム配信

コロナ禍で外出する機会や体を動かす機会が減った皆様に、サンアップル・サンスポーツで何かできないか考え、障がいのある方を対象にお家や施設でできるプログラムを配信する専用ページを開設しました。

これまで、サンスポーツで実際に行ってきた活動の中から、身近な環境・用具を使ってできる活動を集めたスポレクプログラム集のアレンジや、リズム体操、どこでも簡単にできる「3つだけ体操」などをPDFや動画で紹介しています。

中でも「3つだけ体操」はシリーズでPart 6まで紹介しています。

「3つだけなら続けられるかも」「3つだけなら覚えやすいから、テレビを見ながらでもできるかな」とご好評いただいています。

なお、出張スポーツ教室など、過去に行った体操や活動や、障がいに合わせて内容のアレンジなどのご希望があればサンアップル・サンスポーツまで気軽に相談ください。

毎日、ちょっとしたスキマ時間を使って、からだを動かしていきましょう。（清水）

<https://sunapple-sport-pro.amebaownd.com/>



片側まひがある方は、肘掛けイスやテーブルを支えに行ってみましょう。まひ側の脚も、動かせる範囲で動かしましょう。

発達障がい者支援施設への研修 「社会福祉法人はるにれの里」 長期派遣研修を受けて



西駒郷駒ヶ根支援事業部
日中活動支援課 支援員
櫻井志帆

研修先
(社福) はるにれの里
①札幌市自閉症自立支援センターゆい
②生活介護事業所 ほぬーる

令和元年度10月～2月まで5ヶ月間、北海道の先進施設である「はるにれの里」にて研修を行いました。西駒郷以外の施設での勤務経験がない中、遠い北海道の先進施設での研修は新鮮で、充実した研修を送ることが出来ました。

研修をする当初、私は先進施設で取り組んでいる支援技術ばかりに目が向いてしまいました。技法として学ぶことも沢山あり、「こうすればうまくいく」という結果を求めていました。しかし、研修を終えてみて私が5ヶ月間で学んできたことは、技法ではなく、支援者としての心構え、基本的なことである「個々の利用者さんをよく知る事」が一番重要だということを、改めて学びなおすことが出来ました。



発達障がい、自閉症スペクトラム障がいの方の支援において、「その人のことを良く知る」ということはとても大変です。利用者さんの中には、言葉で自分の気持ちを伝えられない方もいます。そういった方はいろんな形で私たちに伝えようとしています。伝え方も、受け取り方も、一人ひとり異なります。その人に合った、わかりやすい支援を行うためにはアセスメントはとても重要で、一番大切なことだということを教えていただきました。

半年間の研修を終えて今思うこと
徒然なるままに…他の法人等とのネットワークの中から見える「福祉」を、そこはかとなく書き綴ります。

は、研修先で得た知識や考え方を、これからどう活かしていけるだろうか、ということです。ゆっくりなペースになってしまいかと思います。支援の中で実践しつつ、まずは沢山の方に、学んできたことを伝えていきたいと思っています。



実習担当者のコメント

(社福) 札幌市自閉症
自立支援センターゆい

所長 佐藤 貴志 様

櫻井さんの第一印象は、人柄の良さで学ぶ意識の高さでした。経験豊富でありながら、そこを感じさせない雰囲気、支援について真摯に学ぶ姿勢を貫いていました。会話の際は必ずメモを取っていましたし、現場では支援の様子をしっかりと観察し、いつも笑顔で利用者さんと接していました。実習時間を過ぎても支援についての話しを続ける姿勢は、強い情熱を感じたことを今でも覚えています。一方でご無理を言って櫻井さんの勤務されている西駒郷さんの話しをしていただき、こちらも新鮮な刺激をたくさんいただきました。機会があれば、櫻井さんのような素晴らしい支援者がいる西駒郷さんを是非見学させていただきたいと思っています。



【長野ブロック】

①水内荘

施設入所支援事業（定員40人）、生活介護事業（60人）
短期入所事業（併設型6人）、相談支援事業（一般・特定）

②みのちグループホームセンター

共同生活援助事業（12ホーム 定員65人）

③歩楽里

相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、放課後等デイサービス事業

居宅介護事業（行動援護・身体介護・家事援助・通院介助）地域生活支援事業ほか

④八雲日和

生活介護事業（定員20人）、就労継続支援B型事業（定員20人）

⑤小春日和

就労移行支援事業（定員6人）、就労継続支援B型事業（定員14人）、就労定着支援事業

⑥長野市地域活動支援センターこぶし

地域活動支援センター事業（定員15人）

ブロック長 小島 健一（水内荘所長）

副ブロック長 板倉 吉子（八雲日和所長）

【泉平ハイツブロック】

⑭泉平ハイツ

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム泉平ハイツ）、短期入所生活介護／介護予防短期入所生活介護（泉平ハイツ短期生活介護センター）、通所介護（豊野デイサービスセンター）、居宅介護支援（泉平ハイツ指定居宅介護支援事業所）、認知症対応型共同生活介護／介護予防認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー）

ブロック長 小林 邦広（泉平ハイツ所長）

副ブロック長 伊藤 靖（泉平ハイツ課長）

【障がい者福祉センターブロック】

⑰長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

障がい者のスポーツ・文化活動支援事業

⑱障がい者スポーツ支援センター長野「サンスポートながの」

サンアップルの北信サテライト事業所

⑲障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポート駒ヶ根」

サンアップルの南信サテライト事業所

⑳障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」

サンアップルの中信サテライト事業所

㉑障がい者スポーツ支援センター佐久「サンスポート佐久」

サンアップルの東信サテライト事業所

ブロック長 佐藤 靖

（障がい者福祉センター所長）

副ブロック長 山崎 珠美

（障がい者福祉センタースポーツ課長）

【松本ブロック】

⑦信濃学園

福祉型障害児入所施設（定員30人）
短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業
施設入所支援事業・生活介護事業 ※18歳以上対象、障害児入所事業の定員内で実施【休止中】

⑧松本あさひ学園

児童心理治療施設（入所30人、通所5人）

⑨松本ひよこ

生活介護事業（定員21人）
就労継続支援B型事業（定員18人）、相談支援事業（一般・特定・障害児）
共同生活援助事業（4ホーム 定員23人）
重度障害者等包括支援事業（定員5人 ※生活介護事業、共同生活援助事業に含む）

⑩大北圏域障がい者就業・生活支援センター「しえるば」

障害者就業・生活支援事業

⑪松本児童家庭支援センターあいく

児童家庭支援センター事業

ブロック長 岡田 菊夫
（松本児童家庭支援センターあいく所長）

副ブロック長 北澤 和明
（松本ひよこ所長）

【上伊那北部ブロック】

⑫ほっと上伊那

共同生活援助事業（24ホーム 定員131人）
居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介助）、行動援護、地域生活支援事業

⑬伊那ゆいま〜る

生活介護事業（定員15人）、就労継続支援B型事業（定員20人）
相談支援事業（特定）

⑭ほっとジョイブ

生活介護事業（定員20人）、就労支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑮辰野町障がい者就労支援センター「工房ぬくもり」

就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑯辰野町地域活動支援センター「つむぎ」

地域活動支援センター事業（定員20人）

ブロック長 宮下 敦志（伊那ゆいま〜る所長）

副ブロック長 三澤 淳子（ほっとジョイブ所長）

【上伊那南部ブロック】

⑰西駒郷

（駒ヶ根支援事業部、宮田支援事業部）
施設入所支援事業（定員123人）、短期入所事業（空床型／併設型2人）
生活介護事業（定員145人）、
就労継続支援A型事業（定員20人）
就労継続支援B型事業（定員34人）、就労移行支援事業（定員6人）、自立生活援助事業、相談支援事業（一般・特定）

ブロック長 塩沢 総夫（西駒郷所長）

副ブロック長 藤原 香澄（上伊那圏域障がい者総合支援センター専門幹）

⑱上伊那圏域障がい者総合支援センター「きらりあ」

相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、障がい児等療育支援事業
発達障がいサポートマネージャー整備事業、障害者就業・生活支援センター事業 ほか

※兼務のある職員の数・職名は主たるものを掲載

令和2年度 事業計画・収支予算書

令和2年度 長野県社会福祉事業団重点施策

1 社会福祉制度改革により求められている下記4項目の実施

- ①経営組織のガバナンスの強化
 - ・経営委員会、所長会議について効率化を図るためWEB会議の導入・活用を進めます
 - ・泉平ハイツとの諸規定の統合について、今年度を目途に就業規則から整備を進めます。
- ②事業運営の透明性
 - ・事務局が主体となってホームページの更新やパンフレットの作成等、情報提供に努めます。
- ③財務規律の強化
 - ・経営の適正化などを図るため、監事及び会計監査人による経理業務の監査体制を継続します。
- ④地域における公益的取組
 - ・「信州あんしんセーフティネット事業（生活困窮者等への緊急支援を提供）」に協力します。
 - ・高齢者や障がい者等に対し、地域の方との交流や情報交換できる居場所づくりの設置検討を行います。

2 障がい者の重度化・高齢化への対応を含めた、今後の地域移行や地域生活の支援体制などのサービス提供体制について検討

- ・各種研修等を各事業所はじめ、事業団全体、ブロック単位で実施します

3 「職員満足度アンケート」に寄せられた課題解決

- ・前年度提案された改善案について6月の実施を目途に調整します。

4 次期指定管理者として再受託

- ・「信濃学園」及び「松本あさひ学園」の指定管理申請（令和3年4月から5年間）を行います。

5 台風19号被災事業所の一日も早い事業所の本来業務復旧

- ・法人一丸となって、台風19号で被災した事業所の復旧に取り組みます。
- ・台風19号被害の検証を基に、水害に対するリスクマネジメントの見直しを実施します。

令和2年度 長野県社会福祉事業団収支予算書

(単位：千円)

科目		本年度予算額	前年度予算額	差引増△減額	科目		本年度予算額	前年度予算額	差引増△減額					
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	495,035	0	495,035	施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	117,661	1,400	116,261			
		児童福祉事業収入	213,245	200,843	12,402			設備資金借入金収入	174,914	5,400	169,514			
		就労支援事業収入	109,245	112,817	△ 3,572			施設整備等収入計(4)	292,575	6,800	285,775			
		障害福祉サービス等事業収入	2,490,255	2,491,535	△ 1,280			設備資金借入金元金償還支出	18,117	20,247	△ 2,130			
		貸付事業収入	9,012	3,124	5,888			固定資産取得支出	410,051	4,438	405,613			
		その他の事業収入	390,896	321,914	68,982			固定資産除却・廃棄支出	100	0	100			
		經常経費寄附金収入	54	15	39			ファイナンス・リース債務の返済支出	2,670	706	1,964			
		受取利息配当金収入	400	777	△ 377			施設整備等支出計(5)	430,938	25,391	405,547			
		その他の収入	24,669	22,850	1,819			施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 138,363	△ 18,591	△ 119,772			
		事業活動収入計(1)	3,732,811	3,153,875	578,936			その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	677,260	450,215	227,045	
		支出	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 259,474	△ 364,504					105,030	その他の活動による収入	0	13,823	△ 13,823
				人件費支出	2,636,078					2,241,338	394,740	その他の活動収入計(7)	677,260	464,038
事業費支出	749,304			736,729	12,575	積立資産支出	62,783			66,340	△ 3,557			
事務費支出	476,609			409,810	66,799	災害損失支出	200,753			0	200,753			
就労支援事業支出	109,245			112,817	△ 3,572	その他の活動支出計(8)	263,536			66,340	197,196			
利用者負担軽減額	740			0	740	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	413,724			397,698	16,026			
支払利息支出	1,106			1,038	68	予備費支出(10)	2,726			3,288	△ 562			
その他の支出	19,203			16,647	2,556	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,161			11,315	1,846			
事業活動支出計(2)	3,992,285			3,518,379	473,906	前期末支払資金残高(12)	526,320			648,040	△ 121,720			
						当期末支払資金残高(11)+(12)	539,481			659,355	△ 119,874			

① サービス提供体制の検討

利用者の重度化・高齢化への対応を含めた、今後の地域移行や地域生活の支援体制などのサービス提供体制について検討を踏まえ、下記の取り組みを実施しました。

- ①「ブロック会議」開催により、各ブロックの課題解決や職員研修等を推進しました。
- ②「重度包括等支援の改善検討委員会」を立ち上げ、重度包括支援事業の効率的経営及び波田しなのハイツ（松本ひよこ）の方向性を検討しました。
- ③発達障がい児・者に対する理解と支援力アップを図るため先進的な取り組みを行っている法人（社会福祉法人はるにれの里 [北海道]）への長期派遣研修を実施しました。（1名）



② 「働き方改革」の推進

- ①職員個々の事情にあった、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、業務の工夫、改善を推奨しました。
- ②事業所の取り組みにより、超過勤務の削減、年次休暇の取得しやすさにつながることを目指しましたが、課題も多く引き続き改善を進めることとしました。
- ③会議、委員会等を効率よく実施するため、WEBによる対応を積極的に行いました。



③ 他法人との合併

令和2年4月の「社会福祉法人豊智福祉会」との合併に向けた準備を進めました。

④ 地域における公益的取組

公益的取り組み委員会が中心となり、「信州あんしんセーフティネット事業」への協力のほか、台風19号による被災者の受入れ・施設開放、地域住民との交流イベント等の開催を行いました。

⑤ 新規事業所等の開設準備

- ①令和2年4月の松本児童家庭支援センター設置に向け準備を進めました。
- ②伊那ゆいま～る及びほっと上伊那の令和3年4月の新築、移転に向けた準備を進めました。

⑥ 台風19号被災事業所の復旧

台風19号の浸水被害では、5つの事業所が被災しました。幸い人的被害は無かったものの、建物、設備、車両等で甚大な損失を被りました。被災直後から法人事業所が連携、協力して片付け等の支援に努めました。

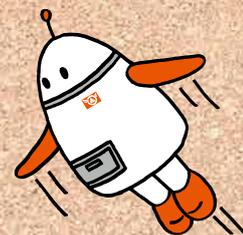
台風19号復旧関係（建物関係のみ）

事業所	内容	金額
みのちGHC	南郷の家 畳入れかえ	60,000円
八雲日和	うどん・おやき工房さくら 1階の改修工事	96,096,000円
小春日和	建物修繕	52,800,000円
こぶし	事務所、駐車場の復旧工事	長野市対応
障がい者福祉センター	災害復旧工事等	60,098,574円



⑦ 新型コロナウイルス感染防止対策

県内感染者がない令和2年1月の初期段階から、事業所内の感染防止対策、職員の行動規範を各事業所に要請しました。県内地域の感染者発生に伴い、国及び長野県の通達に基づいた対応の徹底を事業所に通知しました。



令和元年度 収支決算書 (法人合算)

資金収支計算書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

	科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収入	収入			
	児童福祉事業収入	200,843,000	199,310,541	1,532,459
	就労支援事業収入	115,360,000	98,754,396	16,605,604
	障害福祉サービス等事業収入	2,500,538,000	2,463,426,869	37,111,131
	貸付事業収入	26,366,000	26,393,275	△ 27,275
	その他の事業収入	394,101,000	363,241,672	30,859,328
	経常経費寄附金収入	1,622,000	2,578,300	△ 956,300
	受取利息配当金収入	1,139,000	1,146,038	△ 7,038
	その他の収入	58,042,000	56,068,860	1,973,140
	事業活動収入計(1)	3,298,011,000	3,210,919,951	87,091,049
	支出			
	人件費支出	2,211,227,000	2,135,512,135	75,714,865
	事業費支出	723,042,000	691,789,528	31,252,472
	事務費支出	542,398,000	379,756,584	162,641,416
就労支援事業支出	115,458,000	97,727,703	17,730,297	
支払利息支出	1,139,000	1,006,686	126,314	
その他の支出	16,856,000	15,430,952	1,425,048	
事業活動支出計(2)	3,610,114,000	3,321,223,588	288,890,412	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 312,103,000	△ 110,303,637	△ 201,799,363	
施設整備等による収入	収入			
	施設整備等補助金収入	156,477,000	10,400,000	146,077,000
	施設資金借入金収入	7,318,000	5,637,600	1,680,400
	施設整備等収入(4)	163,795,000	16,037,600	147,757,400
	設備資金借入金元金償還支出	20,183,000	18,749,197	1,433,803
その他の活動による収入	支出			
	固定資産取得支出	57,631,000	33,070,755	24,560,245
	ファイナンス・リース債務の返済支出	706,000	705,888	112
	施設整備等支出計(5)	78,520,000	52,525,440	25,994,160
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	85,275,000	△ 36,488,240	121,763,240
その他の活動による収入	収入			
	積立資産取崩収入	444,944,000	415,744,726	29,199,274
	その他の活動による収入	53,470,000	53,470,000	0
	その他の活動収入計(7)	498,414,000	469,214,726	29,199,274
	積立資産支出	135,536,000	134,506,568	1,029,432
その他の活動による収入	支出			
	災害損失支出	95,429,000	72,340,109	23,088,891
	その他の活動支出計(8)	230,965,000	206,846,677	24,118,323
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	267,449,000	262,368,049	5,080,951
	予備費支出(10)	8,139,000	0	3,139,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	37,482,000	115,576,172	△ 78,094,172	
前期末支払資金残高(11)	526,383,000	526,394,298	△ 11,298	
当期末支払資金残高(11)+(12)	563,865,000	641,970,470	△ 78,105,470	

事業活動収支計算書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

	科目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	
サービス活動増減の部	収入				
	児童福祉事業収入	199,310,541	197,766,844	1,543,697	
	就労支援事業収入	98,754,396	113,506,988	△ 14,752,592	
	障害福祉サービス等事業収入	2,463,426,869	2,579,062,871	△ 115,636,002	
	貸付事業収入	30,984	10,267	20,717	
	その他の事業収入	363,241,672	315,498,850	47,742,822	
	経常経費寄附金収入	2,578,300	2,132,110	446,190	
	その他の収入	0	105,596	△ 105,596	
	サービス活動収入計(1)	3,127,342,782	3,208,083,526	△ 80,740,744	
	費用				
	人件費	2,133,027,964	2,128,578,819	4,449,145	
	事業費	452,865,677	516,785,551	△ 63,919,874	
	事務費	379,684,883	512,044,471	△ 132,359,588	
	就労支援事業費用	98,489,645	112,972,469	△ 14,482,824	
減価償却費	124,073,110	127,939,163	△ 3,866,053		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 149,260,152	△ 136,155,036	46,894,884		
サービス活動費用計(2)	3,038,981,127	3,202,165,437	△ 163,284,310		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	88,461,655	5,918,089	82,543,566		
サービス活動外増減の部	収入				
	受取利息配当金収入	1,146,038	770,764	375,274	
	その他のサービス活動外収入	56,068,860	26,369,109	29,699,751	
	サービス活動外収入計(4)	57,214,898	27,139,873	30,075,025	
	費用				
	支払利息	1,006,686	1,115,328	△ 108,642	
	その他のサービス活動外費用	15,430,952	17,839,527	△ 2,408,575	
	サービス活動外費用計(5)	16,437,638	18,954,855	△ 2,517,217	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	40,777,260	8,185,018	32,592,242	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	129,238,915	14,103,107	115,135,788	
	特別増減の部	収入			
		施設整備等補助金収入	10,400,000	30,000	10,370,000
		固定資産受贈額	4,910,000	3,943,140	966,860
		固定資産売却収入	0	203,000	△ 203,000
初物特別利益		53,470,000	89,031,000	△ 35,561,000	
固定資産売却損・処分損		68,790,000	93,207,140	△ 24,427,140	
固定資産売却損・処分損		26,923,967	765,963	26,158,004	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 4,236,943	0	△ 4,236,943	
国庫補助金等特別積立金積立額		63,830,400	89,031,000	△ 25,200,600	
災害損失		78,710,737	0	78,710,737	
特別費用計(9)		165,228,181	89,796,983	75,431,198	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 96,448,181	3,410,157	△ 99,858,338	
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		32,790,714	17,513,264	15,277,450	
法人税、住民税及び事業税(12)		0	0	0	
法人税等調整額(13)	0	0	0		
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	32,790,714	17,513,264	15,277,450		
繰越活動増減差	前期繰越活動増減差額(15)	1,136,683,820	1,281,960,611	△ 145,276,791	
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,169,474,534	1,299,473,875	△ 129,999,341	
	基本金取崩額(17)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(18)	26,318,042	64,619,964	△ 38,301,922	
	その他の積立金積立額(19)	14,441,007	227,410,019	△ 212,969,012	
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,181,351,569	1,136,683,820	44,667,749	

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

科目名	資産の部			科目名	負債の部		
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	830,547,684	907,241,340	△ 76,693,656	流動負債	280,328,808	468,294,413	△ 187,965,605
現金預金	473,689,892	555,224,337	△ 81,534,445	事業未払金	159,909,560	341,696,958	△ 181,787,398
事業未収金	351,451,220	346,272,624	5,178,596	1年以内返済予定設備資金借入金	16,175,048	17,800,998	△ 1,625,950
未収補助金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	705,888	△ 705,888
貯蔵品	175,185	204,117	△ 28,932	預り金	18,856,123	28,776,841	△ 9,920,718
原材料	1,387,142	2,099,641	△ 712,499	職員預り金	8,424,389	8,204,320	220,069
立替金	121,462	1,020,721	△ 899,259	前受金	0	69,282	△ 69,282
前払金	1,672,490	867,876	804,614	賞与引当金	76,963,688	71,040,126	5,923,562
前払費用	144,093	195,124	△ 51,031	固定負債	509,790,877	529,684,257	△ 19,893,380
仮払金	1,906,200	1,356,900	549,300	設備資金借入金	131,496,274	142,981,921	△ 11,485,647
固定資産	4,238,861,002	4,426,452,571	△ 187,591,569	退職給付引当金	279,715,964	288,578,392	△ 8,862,428
基本財産	1,089,539,986	1,159,199,844	△ 69,659,858	全事協退職年金共済引当金	98,578,639	98,123,944	454,695
土地	84,127,898	84,127,898	0				
建物	990,412,088	1,060,017,946	△ 69,605,858				
投資有価証券	15,000,000	15,000,000	0				
その他の固定資産	3,149,321,016	3,267,252,727	△ 117,931,711				
建物	23,578,610	30,132,957	△ 6,554,347				
構築物	31,796,744	32,723,187	△ 926,443				
機械及び装置	51,012,266	60,417,995	△ 9,405,729				
車輛運搬具	26,445,985	19,155,676	7,290,309				
器具及び備品	57,656,814	56,645,255	1,011,559				
有形リース資産	0	705,888	△ 705,888				
権利	2,150,183	2,379,966	△ 229,783				
ソフトウェア	3,513,753	4,611,151	△ 1,097,398				
長期貸付金	1,199,960,406	986,926,847	213,033,559				
退職給付引当資産	279,715,964	288,578,392	△ 8,862,428				
貸付原資産積立資産	595,568,611	858,420,745	△ 262,852,134				
人件費積立資産	209,486,885	211,033,885	△ 1,547,000				
施設整備等積立資産	519,051,562	526,493,576	△ 7,442,014				
全事協退職年金共済預け金資産	98,578,639	98,123,944	454,695				
長期前払費用	613,379	605,559	7,820				
その他の固定資産	46,606,657	85,723,869	△ 39,117,212				
工賃変動額積立資産	3,584,558	3,319,807	264,751				
設備等整備積立資産	0	1,254,028	△ 1,254,028				
資産の部合計	5,069,408,686	5,333,693,911	△ 264,285,225				
				負債の部合計	4,279,289,001	4,335,715,241	△ 56,426,240
				負債及び純資産の部合計	5,069,408,686	5,333,693,911	△ 264,285,225

トピックス

①本部事務局が令和3年1月に移転しました。

これまで本部事務局の入居していた建物「長野県社会福祉総合センター」（長野市若里）が、耐震性等の問題により間もなく解体される予定であるため、このたび本部事務局を移転しました。

移転先は長野市の中心市街地であり、長野駅からも高速道路のインターチェンジからもアクセスしやすい場所にあります。

県下に20事業所を有する当法人の運営に利便性が高いうえ、事務室、役員室、会議室の事務局機能のほか、1階待合スペースを地域に開放することで、社会福祉法人に求められている「公益的取り組み」の拠点として活用することも可能です。コロナが収束しましたら是非お立ち寄りください。



移転先住所
〒381-0034
長野市大字高田364番地1
(電話・ファクスの変更はありません)

②伊那ゆいま〜る・ほっと上伊那が令和3年4月に移転します

「伊那ゆいま〜る」（生活介護・就労継続B）は、県の都市計画道路延伸工事により、令和2年度中の取り壊しが予定されているため、令和3年4月のリニューアルオープンを目指して、移転新築工事を進めています。

移転先は、現在地に比べても広大な敷地面積があるため、伊那養護学校や西駒郷等からの要望が多い生活介護の定員を増やすとともに、地域ニーズの高い短期入所事業の実施を検討します。さらには、伊那市中心部に移転するという立地を生かし、「ほっと上伊那」の事務所としても活用する予定です。



将来的には伊那市をはじめとする近隣市町村の障がい福祉サービスの拠点として事業展開していくことを考えており、関係者の皆さんと積極的に情報交換しながら、有効利用について検討を進めます。

◆令和元年度寄付一覧（敬称略）

寄付申出者	寄付先	寄付内容
長野ブロック事業所協会の	水内荘	車両1台
長野ブロック事業所協会の	水内荘	防風雪カーテン・波板設置工事
阿部 宏(利用者ご遺族)	水内荘	寄付金1,000,000円
三浦慶昭(職員)	歩楽里	個人野菜の売上代
信濃学園手をつなぐ親の会	信濃学園	遊具他余暇物品
ザ・ビッグ山形店	信濃学園	クリスマスケーキ他
Nepali Handiworks Lotus	松本あさひ学園	ニット製品寄贈

寄付申出者	寄付先	寄付内容
Hair Make Design Paf「seek」	松本あさひ学園	キャップ帽、ヘアアクセサリ寄贈
(株)北澤電機製作所	西駒郷	寄付金300,000円
吉田昌志(利用者ご遺族)	西駒郷	寄付金100,000円
(株)ミナミサワ	法人本部	寄付金100,000円
NPO法人夢・同人	法人本部	台風19号に係るお見舞金
社会福祉法人小羊学園	法人本部	〃
(株)ジー・テイスト	法人本部	〃

プレゼント「八雲うどん」「お八季」

八雲日和

支援員 北澤直人からのメッセージ



八雲日和の「八雲うどん」「お八季」は看板商品であり、多くの皆様から大変ご好評をいただいている主力商品です。令和元年の台風19号の被災以降、製造・販売することが出来ず利用者、職員共に力の抜けた日々でしたが、6月に再開した際には以前にも増して張り切って日々、仕事に取り組んでいます。これまで食べたことがある方も、初めての方も是非、新しい工房で製造した「八雲うどん」「お八季」の詰め合わせをぜひご賞味ください。



事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて本部事務局までお寄せ下さい。2月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で、八雲日和の「八雲うどん」「お八季」を5名の方にプレゼントいたします。なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。（プレゼントの発送は3月頃を予定しています）

編集後記

新型コロナウイルス感染症のまん延により、TVやラジオから「不要不急な外出を避け…」という言葉がよく聞かれました。改めて振り返ると、これまでの暮らしの多くは「不要不急」であったことに気がかされます。そして「不要不急」こそが文化であったことも。長野県では感染防止を考え実践する「信州版 新たな日常のすゝめ」が提唱されています。感染対策をしつつも「不要不急」である趣味、生きがいを利用者、そして自分自身にも見出すことができればと思います。（中村）

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

(令和3年1月1日に移転しました)
〒381-0034 長野市大字高田364番地1 tel : 026-228-0337 fax : 026-228-0310
URL : http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/